

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 20日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿

提出者 〒260-0025

住 所 千葉県千葉市中央区問屋町1番35号
千葉ポートサイドタワー17階

氏 名 パナソニックホームズ[®]（株）千葉支社
支社長 米良 博文

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 043-204-8714

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	パナソニックホームズ株式会社 千葉支社
事業場の所在地	千葉市中央区問屋町1-35千葉ポートサイドタワー17階
計画期間	令和5年04月01日～令和06年03月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D建設業 06総合工事業
② 事業の規模	87億円
③ 従業員数	126名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表参照	
	排出量	4610.9 t	t
	(これまでに実施した取組) (解体) ・手壊しによる分別解体の徹底・リサイクル率の高い業者選定 ・事前調査による排出計画の厳密化・優良認定業者採用への促進 (新築) ・余剰部材削減・製造時プレカット促進 ・広域設定による再資源化徹底・排出者記名による分別徹底		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表参照	
	排出量	4150 t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状維持		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) (解体)コンクリート・アスファルト・その他がれき、石綿含有建材、石膏ボード、金属、廃プラ、木くず、繊維、紙くず、混合廃棄物、確実に他と混入しないよう分別管理 (新築)排出者がわかるように記名し、袋詰めを行い、分別の徹底
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表参照	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表参照	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表参照	
	全処理委託量	4610.9 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	2344.3 t	t
	再生利用業者への処理委託量	4487.6 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	t
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表参照	
	全処理委託量	4150 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	2110 t	t
	再生利用業者への処理委託量	4039 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	繊維くず ^a	がれき類（石綿含有）	紙くず	木くず				
	排出量	2.7 t	123.3 t	68.4 t	792.2 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず ^a	がれき類（石綿含有）	紙くず	木くず				
	排出量	2.4 t	110.9 t	61.5 t	713.0 t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	繊維くず ^a	がれき類（石綿含有）	紙くず	木くず				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず ^a	がれき類（石綿含有）	紙くず	木くず				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	繊維くず ^a	がれき類（石綿含有）	紙くず	木くず				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず ^a	がれき類（石綿含有）	紙くず	木くず				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	繊維くず ^a	がれき類（石綿含有）	紙くず	木くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず ^a	がれき類（石綿含有）	紙くず	木くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	繊維くず ^a	がれき類（石綿含有）	紙くず	木くず				
	全処理委託量	2.7 t	123.3 t	68.4 t	792.2 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.9 t	123.3 t	33.6 t	427.7 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2.7 t	0.0 t	68.4 t	792.2 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず ^a	がれき類（石綿含有）	紙くず	木くず				
	全処理委託量	2.4 t	110.9 t	61.5 t	713.0 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.8 t	110.9 t	30.3 t	385.0 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2.4 t	0.0 t	61.5 t	713.0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t

別紙1

産業廃棄物の一連の処理の工程

新築工事	木くず	広域認定第185号による再資源化处理	再生原料
	がれき類その他	広域認定第185号による再資源化处理	再生原料
	石膏ボード	広域認定第185号による再資源化处理	再生原料
	混合廃棄物	広域認定第185号による再資源化处理	再生原料
	紙くず	広域認定第185号による再資源化处理	再生原料
	金属くず	広域認定第185号による再資源化处理	再生原料
	廃プラスチック類	広域認定第185号による再資源化处理	再生原料
解体工事	コンクリートがら	破碎 再生処理業者委託	再生原料
	ガレキ類その他	破碎 再生処理業者委託	再生原料
	石膏ボード	破碎 再生処理業者委託	再生原料
	ガラス・陶磁器	破碎 再生処理業者委託	再生原料
	ガラス・陶磁器	破碎 再生処理業者委託	安定型埋立
	金属くず	破碎 再生処理業者委託	再生原料
	廃プラスチック類	破碎 圧縮 再生処理業者委託	再生原料
	廃プラスチック類	破碎 圧縮 再生処理業者委託	安定型埋立
	繊維くず	破碎 再生処理業者委託	再生原料
	木くず	破碎 再生処理業者委託	再生原料
	紙くず	破碎 再生処理業者委託	循環利用
	アスファルト	破碎 再生処理業者委託	再生原料
	建設系混合廃棄物	破碎 圧縮 再生処理業者委託	管理型埋立
	建設系混合廃棄物	破碎 圧縮 再生処理業者委託	再生原料
	石綿含有建材	埋め立て処分業者へ搬入	管理型埋立
	鋼さい	破碎 再生処理業者委託	再生原料

別紙2 (管理体制図)

